

中学男子

各区間総合上位6チームの記録

【第1走】

- 1位 遠野 00:12:16
- 2位 長内 00:12:18
- 3位 土淵 00:12:19
- 4位 胆沢 00:12:22
- 5位 城西 00:12:27
- 6位 西根 00:12:37

【第2走】

- 1位 西根 00:25:08
- 2位 遠野 00:25:13
- 3位 胆沢 00:25:28
- 4位 福岡 00:25:37
- 5位 盛岡・河南 00:25:44
- 6位 滝沢南、土淵 00:25:45

【第3走】

- 1位 西根 00:37:46
- 2位 福岡 00:38:35
- 3位 遠野 00:38:45
- 4位 大船渡・一 00:38:54
- 5位 滝沢南 00:38:58
- 6位 盛岡・河南 00:39:05

【第4走】

- 1位 西根 00:50:48
- 2位 福岡 00:51:27
- 3位 遠野 00:52:21
- 4位 大船渡・一 00:52:37
- 5位 盛岡・河南 00:52:39
- 6位 大宮 00:52:44

【第5走】

- 1位 西根 01:04:16
- 2位 福岡 01:04:35
- 3位 遠野 01:05:57
- 4位 北陵 01:05:58
- 5位 盛岡・河南 01:06:01
- 6位 滝沢南 01:06:14

# 西根中男子が連覇達成

73rd Morioka City Around Relay Race Tournament

## 第73回盛岡市内一周継走大会

㊦ゴール直後に支えてくれた仲間と抱き合い、喜びを分かち合う選手たち



㊧1走の戸津選手に声を掛け、たすきを待つエースの工藤主将



㊨優勝を報告する選手と、その活躍をエールでたたえる応援団と生徒。競技中は選手の走り応援で大きく後押ししました



選手は、昨年優勝した先輩と共に練習を重ね、全国大会も経験し、力を付けてきました。10月の県駅伝では他校からマークされますが、県駅伝でも連覇の重圧はねのけ、全国大会出場を勝ち取り、これからも練習に励みます。

優勝を盤石にしたのは3走の遠藤樹選手。2位以下を引き離し、独走で4走の高橋悠月選手へとタスキを託しました。高橋選手は「時計のスタートボタンを押したけれど、日ごろの練習で体に染みついたリズムを刻み、ペースを守りました。5走の門屋佳一郎選手も落ちた走りを見せ、昨年優勝時と同タイムの1時間4分16秒でゴール。連覇を示す2本指のVサインでテープを切りました。

第73回盛岡市内一周継走大会は4月21日、県営運動公園陸上競技場を発着点とする1周3.8kmのコースで行われ、中学校男子(出場114チーム)で西根中が優勝し、連覇を達成しました。各校のエース級が出そう1走を務めたのは戸津大輝選手。トップを視界に捉えながら食らいつき、競技場に入ると渾身のスパイトで2人を抜いて、6位でつなぎました。2走は、昨年も同大会の出場経験を持つ主将の工藤信太郎選手。競技場手前で遠野中を抜き去り、トップに立ちました。



門屋 佳一郎(3年) 13:28 区間7位  
4人が大きなリードを作ってくれたのでうれしかったです。油断しないように自分に言い聞かせて、落ち着いて走り切ることができました。



高橋 悠月(2年) 13:02 区間2位  
2位とのタイム差があったので、自分のペースを刻むことに集中しました。最後のラストスパイトを上げられるように練習に励んでいきたいです。



遠藤 樹(3年) 12:38 区間1位  
単独で走っている時間が長かったが、余計なことは考えず、ペース通り走ることができました。練習からラスト800mをイメージして練習していきたいです。



工藤 信太郎(3年) 12:31 区間1位  
1走がいい走りをしてくれたので、勢いに乗ることができました。展開を考えながら駆け引きして、トップでつなげることができたのはよかったです。



戸津 大輝(2年) 12:37 区間6位  
ラスト800mでスパイトをかけ、順位を上げられてよかったです。中盤でペースが落ちて先頭集団に離されたので、県大会に向けて、練習を積んでいきたいです。



氏名(学年) タイム 区間順位  
レースを振り返っての感想や今後の抱負など